



骨密度の検査をすると何が分かるの？

【担当：放射線科】

骨密度検査を受けて結果を見てもよく分からない・・・？

当院で行っている骨密度測定（DEXA 法）とその検査結果の見方について説明します。



◎DEXA 法とは？

2種類の異なるエネルギーの엑스線を測定部位に当てることにより、骨とその他の組織とを区別して、その差で骨密度を測定する方法です。被ばく線量も極めて少なく、誤差も少ない精度の高い測定ができます。このため、DEXA 法は、骨量測定の標準方法とされています。

◎測定部位は？

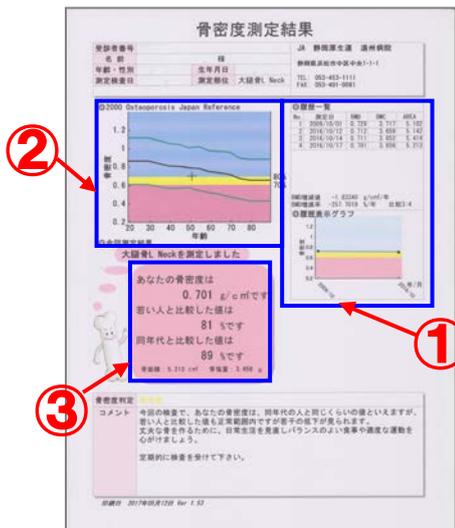
腰椎と大腿骨頸部の2ヶ所を測定します。

骨折を起こしやすい部位を直接測ることで、かかとの骨でおこなう超音波法や、手や腕の骨でおこなう簡易的な骨密度測定よりも、より重要で正確な評価をすることができます。

◎検査結果で何が分かるの？

検査を受けると、このような検査結果をお渡しします。
内容を詳しく説明していきます。

BMD の値に注目!!



①

◎履歴一覧				
No.	測定日	BMD	BMC	AREA
1	2009/10/01	0.729	3.717	5.102
2	2016/10/12	0.712	3.659	5.142

検査履歴の結果一覧です。

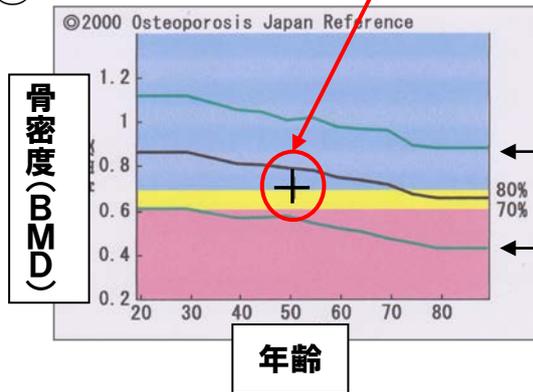
数値とグラフで表示しています。

BMD とは「骨密度」のことで、 1cm^2 (平方センチメートル)当たりにあるカルシウムの重さ(g)です。

この値が大きいほど、骨が強いということです。

ご自分の結果です!!

②



横軸を年齢、縦軸を骨密度の値としています。

上下の**緑ライン**の間が、各年齢における平均骨密度の範囲です。

← **緑ライン**

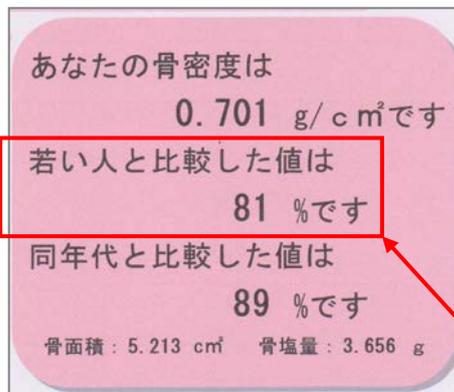
← **黒ライン**

← **緑ライン**

「+」で表示しているところが、ご自分の骨密度です。

同年齢の方と比較して、ご自分の値が高いのか低いのが分かります。

③



骨密度の検査結果の中でこの値が大事です。

YAM(Young Adult Mean「若年成人平均値」)といえます。

20~44歳の健康な女性の骨密度を100%として、現在のご自分の骨密度が何%であるかを比較した数値です。

この数字がYAMの値!!

このYAMの値によって、骨粗鬆症の診断基準があります。

YAMの値が 80%以上(②のグラフで**青色**のところ) ... 正常

70%以上~80%未満(②のグラフで**黄色**のところ) ... 骨量減少

70%未満(②のグラフで**赤色**のところ) ... 骨粗鬆症の疑い

自分の骨が健康であるかどうかは、外見では判断できません。

定期的に骨密度測定をおこなうことは、骨粗鬆症の予防や早期発見にもつながります。

早めに診断を受け、食事や運動療法に加え、場合によっては骨を強くするお薬や注射による薬物療法を早く開始することで、骨折がおきるリスクを減らすことができます。

ご心配、ご相談がある方は、整形外科医師または主治医までお問い合わせください。

*取り上げて欲しい病気や検査、質問等がありましたら、投書箱やよろず相談窓口までお気軽に声をかけてください。企画の参考にさせていただきます。

【監修:ふれあい編集部】